



浜家連 ニュース 7月号

第179号

平成27(2015)年7月1日発行

○発行人 特定非営利活動法人 横浜市精神障害者家族連合会
事務局 〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752番地
障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール3階
電話 045(548)4816 FAX045(548)4836

巻頭言

「きょうだいだから出来た、親だったら出来なかったかも！」

副理事長 鷹野 薫



この5月に私の75歳になる統合失調症の弟が近くの特別養護老人ホームに入所しました。1982年(昭和57年)に43歳で長野県から入院のため上京してから、32年の期間が経過しました。この先未だなにが起こるか分かりませんが、「この子を残して死ねない」と云って亡くなった両親の思いを、私たち夫婦ときょうだいたちが、なんとか果たすことができました。

この報告は、私の妻、(弟にとっては義姉)がある大学院の学生のインタビューに答えたレポートです。

・・弟のあゆみ・・*『 』内は私の妻が回答したコメントです)

1、1982年町田市の日精病院(現飛鳥病院)に入院する前まで
高校卒業後実家の両親と住み、農業の手伝いをしていた。20代で発症し、2回入院、通院はとぎれとぎれで、服薬も中断していた。髪、ひげは伸び放題で、仙人の様な格好で田んぼや野山を徘徊していた。

2、1982年12月入院。

両親が70歳近くとなり、父が病気になって入院し、母親も病弱で、誰も面倒みる人がいなくなり、大阪、福岡勤務を経て、青葉区田奈町に住んでいた、私たちが引き取ることになった。

『誰も見る人がいなかったですね、みれば断れなかった、やむを得ないですね。』

3、1986年(昭和61年)3月、病院から浦島共同作業所へ通所練習

①妻が朝病院に迎えに行き、一諸に東神奈川の作業所へ行き、昼食後一緒に帰る。

②妻が朝病院に迎えに行き、一諸に東神奈川の作業所へ行き、一旦帰宅、午後迎えに行き病院へ一諸に帰る。

③妻が朝病院に迎えに行き、東神奈川駅から一人で行く(後から見え隠れに着いて行く)午後迎えに行き病院へ一諸に帰る。

④妻が朝病院に迎えに行き、東神奈川駅から一人で行く、午後一人で病院へ帰る。

・・この間約1ヶ月・・

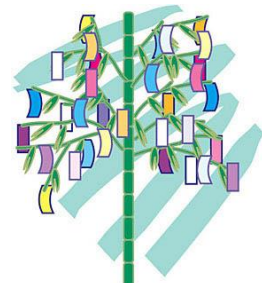
⑤ひとりで通う

病院の近くまで帰って来たが、迷って、一晚帰らず、翌朝近くの畑で見つけたこともあった。

⑥1986年9月退院(3年10ヶ月入院)

・・この入院期間中弟の私以外の3人のきょうだいは、弟名義の郵便貯金口座をつくり毎月送金してくれた・・

『きょうだいだから出来たと思いますよ。冷めた目でみれるから。親だったらきっとかわいそうだとか、そんな作業所行きっこないとか云ってやれなかったと思いますよ。彼も、親だったら甘えて行かなかったと思いますよ。距離が大事ですよ。』



4、1983年（昭和58年）1月私が保護義務者となり、年金申請のため妻が書類集めをした。弟が20歳になって少し仕事に就いたが、辞めた以降、妹が本人に代わって、国民年金を払い続けたことが分かった。また、長野県時代の書類集めに、通院先だった病院でワーカーをしていた従妹が協力してくれた。同年9月に裁定された。

『きょうだいも親戚の方も皆サポートしてくれました。この人を預かってもらっていると、皆思っているようですよ。私たちだけではないですよ。今この年金が本当に助かっています。』

5、1986年（昭和61年）から2004年（平成16年）
45歳から63歳まで、18年間浦島に通い続けた。「おやぶん」と呼ばれて、皆さんとなんとか作業をしていました。

『彼が病気になってから人生で一番楽しかった期間でしょう、浦島のスタッフさんに感謝・感謝ですが、やはり本人自身が一番偉いと思いますよ。何か皆さんが支えてくれるものを持っているのでしょうか。笑顔でしょうか。』

6、2004年から2010年（平成22年）
浦島が遠いし、出来そうな仕事も少なくなってきたので、青葉区田奈町の「ネバーランド青葉」に代わりました。「ご老公」とよばれて、ただ居るだけでしたが、皆さんに大事にされていました。

『姉としてではなく、親の様になって、あれこれうるさく云うようになったと感じています。まずいでしょうね。』

7、2010年6月から2012年（平成24年）
65歳となり、もう近くの老人施設の方が良い、との病院の主治医さんのすすめで、家の前にある「鴨志田地域ケアプラザ」のデイケアに通いました。

『この横浜の家が自分の家ですよ、と云い聞かせて、漸く自分の家と感じている様子です。だんだん子供に帰っていくみたいで、私を母親と思っている様ですよ。』



8、2012年6月から2015年（平成26年）5月
「デイサービスあかね台」に火曜日から土曜日まで日中通所、身体は普通に動きますが、食事をはじめ朝起きるから寝るまで、目が離せなくなっていました。この1月に要介護4となり、以前ナイトケアで利用したことがある特別養護老人ホームから声がかかって、入所となりました。

『32年間で、行方不明事件が5回ありましたが、なんとか見つかри、この人には神が付いていると思います。彼のお母さんとの約束を果たせたのは、人との出会いと人の助けです。緑区保健所のNワーカーさんとの出会いが出発点です。出会いを大切にしていけば、きっと良いことがある、と私は信じています。』

横浜市会議員団との懇談が進んでいます。副理事長 大羽 更明

28年度要望事項について（要望事項の項目は6月号でお知らせ済みです。）

6月17日（水）の共産党との懇談会を皮切りに、19日（金）に自民党、23日（火）に公明党、29日（月）民主党との懇談が終わりました。短時間の中で宮川理事長が最重点項目を手際よく説明すると、各党派とも議員さんから次々と質問があり、皆さんの関心の高さがうかがわれました。7月30日（木）には維新の党との懇談が予定されています。懇談会終了後にも機会があれば出身区の議員さんに浜家連の要望への支援をお願いできるとよいと思います。

公明党と懇
談、議員団



2



浜家連
出席者

市の健康福祉局には7月17日(金)午後2時から2時間かけて要望を伝えます。行政の担当の方々ともよりよい関係を保ち私たちの願いを理解してもらえる大切な機会です。ご都合がつく方は参加してください。

『いじめ一発症』～回復までの道のり～ ① 向山 淳子

コンボから発行されている、「こころの元気+ (プラス)」6月号に神奈川県家族会所属の娘さんが表紙を飾りました。18ページに「人の力をもらって」が載っています。書くことが好きな方で個展も開催しています。今回長い文章をお寄せいただきましたので、これ以降のニュースに分けて掲載します。



「アンケート配ります。考えて書くように。」5年生のクラス替えの初日、配られたのは「好きな人嫌いな人アンケート」だ。その日私は担任に呼び出され、アンケートを読まされた。嫌いの所には私の名前が沢山あり言葉を失った。いきなりそんな物を見せられて何か言える訳がない。黙っていると「何か言え！」と怒鳴られた。その日が地獄の日々の幕明けだったと思う。数々の精神的暴力。休み時間に女子だけ集め私は廊下に出される。呼ばれて中に入り、前に立たされて皆からワーっと言われた。度々・・・悲しかったし訳が分からなかった。ある日授業でケガをして保健室につれていってもらった。帰りの会での事はリアルに覚えている。「今日、汚い人の汚い血をふきました。」「ご苦労さまでした。」

自分全部を否定されると心の底から感じ、私の心は崩壊した。叫びは行動になって現れた。土砂降りの雨の中でずっと立っていたり、4階から身を乗り出してはしゃいだり。注目して欲しかった。目立つことをしないと一人ぼっちになっちゃう。そう思っていた。

常に周りを気にし、ビクビクしながら笑っていた。誰にも言えない気持ちを私はノートに書いた。

私の手 手紙を書き始めると 魔法の手になっちゃうの
スラスラと書けちゃうの 読み替えして悲しくなって
破いては捨ててのくりかえし うそつきの手 私の手 悲しくさせる魔法の手
こんな感じだ。

保健の先生は私の変化に気づいたみたいで5年生で精神科につれて行かれた。記憶はほぼないけど。中学はDr ストップで行けず、不登校の子が通う別の中学に通った。自傷もそこで覚えたんだ。血を見ると安心した。高校は定時制へ。温かい先生方に出逢ったけど自己否定と人間不信の中で日々をつないできた

私には上手くいかないことだらけ。6年間で2回の自殺未遂をした。生きていることが嫌で仕方がなかったんだ。(次号に続く)

単会便り のぞみさんから

夏莉先生アンケートについて のぞみ 平野 章夫

息子が『わからないなあ〜』と首をひねり、あれこれ迷いながらアンケート用紙に記入している。夏莉郁子医師(やきつべの径診療所)の「皆さんから見た精神科医のイメージと能力」についてのアンケート調査を浜家連から依頼される。＜受診している現在の病名は？＞息子は統合失調症以外にもう一つの病を併せ持っている。11項目もの病名欄から、それを見つけると、『あった！でも、喜んでいない場合じゃないなあ〜』と。＜担当医を動物に例えると？＞『ライオン』と。息子がアンケートに真摯に向き合ってくれたこと、2つの病を抱える自分を冷静にみていることが嬉しかった。(事務局追記6月26日現在事務局へ96通届いています)

事務局からのお知らせ

理事会・常任理事会の日にち変更について

8月の理事会の日にち変更 8月7日（金）

9月の常任理事会 9月29日（火）

9月28日（月）～29日（火）は、「みんなねっと福岡大会」です。
ご参加予定の方は個人でお申込みをお願いします。

てとて募金額のお知らせ

浜家連ニュースでもお知らせしていた、「てとて」応援募金ですが、皆様のご協力で今まで集まった金額は約21万円となっています。締め切りは6月30日でしたので、最終金額は8月号でお知らせします。

イベントのお知らせ

§ 1 浜家連第2回研修会

日時 平成27年7月23日（木） 13:30～16:00

会場 横浜ラポール2階 大会議室

定員100名（先着順）

テーマ 認知機能障害を知る

講師 田原 智昭氏（横浜市総合保健医療センターデイケア係長）

§ 2 浜家連研修会第3回

日時 平成27年9月17日（木）13:30～16:00

会場 横浜ラポール2階 大会議室

定員100名（先着順）

テーマ 障害者権利条約と私たちの暮らしはどうなるか

講師 赤松 英知氏（きょうされん常務理事）



§ 3 市民メンタルヘルス講座

日時 平成27年9月19日（土） 13:30～16:30

会場 健康福祉総合センター 4階ホール（桜木町駅前）

定員 300名（事前申し込みが必要です。申し込み書はHPからもダウンロードできます）

テーマ 精神科病院を出て、町へ～これからの精神医療がめざしたいこと～（仮題）

講師 伊藤 順一郎先生（27年4月からメンタルヘルス診療所しっぽふぁーれ院長）

編集後記

総会で事務局長の承認を受けてから早1ヵ月、今は無我夢中の状態です。「わかばマーク」がとれるのはいつになるのやら。それまでは、皆様にといろいろとご迷惑をおかけするかも知れませんが、寛大な気持ちで見守っていただけたら幸いです。（事務局 中居）